



いよいよ3月、6年生が卒業するまであとわずかとなりました。教室には学級全員で作成した卒業までのカウントダウンの日めくりが掲示されており、そこには感謝の言葉がたくさん綴られています。コロナ禍で様々なことが制限され、我慢したこともたくさんあったと思いますが、それでも「今年が一番楽しかった。ありがとう。」と綴られているのを見ると、ぐっとくるものがあります。今年度の卒業式も規模を縮小して卒業生とその保護者の皆さま、そして本校教職員のみで実施することとなりました。また、3月に予定しておりました授業参観と学級懇談会も中止することとなり、今年度は1回も子どもたちの教室での学習の様子を観ていただくことができず残念でなりません。今週は、**教育週間相談**としてご希望の保護者の方におかれましては担任と話をさせていただく時間を設定しております。また今後進級にあたって心配事等ありましたらお気軽に学校までご相談ください。



1人1台タブレットが各教室に！



先週末、本校にも各教室に児童数分タブレットが導入されました。これから授業の在り方もまた大きく変わっていきます。

プログラミング的思考を育てるために



今年度プログラミング教育が必修化されるにあたり、学校に「toio」が導入されています。各教科等の学習活動にこの toio ロボットをどのように活用するか、子どもたちの下校後、教職員研修の中で学びを深めています。



運動委員会の子どもたちが企画したジャンピングロープフェスが2月の第3週の昼休みに開催されました。何回跳べるか何度も挑戦する子どもたちの楽しそうな姿がありました。



菊陽町初任者実践発表会



2月22日(月)菊陽町図書館ホールにて今年度菊陽町に初任者として赴任した先生方の実践発表会が開催されました。本校からは浦部敬太先生が「子どもたち一人一人が認められ、安心して過ごせる学級づくり」と題して、「つなぐ」を意識した学級づくりや子どもたちが主体的に参加する授業づくりについて発表されました。子どもたちが生き生きと学ぶ姿もスクリーンに映し出され、素晴らしい発表でした。これから若手教師のリーダーとなつての活躍が期待されます。

菊陽町教育論文表彰式



2月26日(金)菊陽町中央公民館にて教育論文表彰式が開催されました。本校からは嶋田千恵先生の論文が特選に入賞し表彰されました。この教育論文には毎年多くの先生方が応募され、自身の教育実践をまとめるよい機会となっています。

2月の給食から



今年度最後の熊本県で育った黒毛和牛を使った給食は、ハヤシライスでした。お肉がとても柔らかく味付けもまるやかで、とても美味しかったです。

